

美大生のデッサンに協力



モデルの大塚所長

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、5月31日（土）及び6月3日（火）、女子美術大学生の描画製作を支援した。

同大学（相模原キャンパス）は東京五美大の一つであり、「女子美」と呼ばれている。依頼者の自宅が駐屯地近傍で自衛官を目にすることが多かったため、いつか陸上自衛官を描きたいと思っていたという。栄えあるモデルに選ばれたのは、大塚悟所長と武川周一広報官の二人。

当日は、相模原麻溝公園内の芝生に10分間直立不動、休憩を挟みながら何度か繰り返し約1時間、「大丈夫ですか」「まばたきしてもいいですよ」と声をかけられながらモデルの任務を完遂した。この作品は、屈強な陸上自衛官として展覧会に出展される予定である。

相模原地域事務所は、「今後も担当地域の大学の要望に応え、自衛隊の真摯な姿を伝えていく」としている。

いざ募集開始解禁！



学校長に説明する所長と相談員

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、6月16日（月）から高校生募集開始解禁日の7月1日を前に、所長と地域の募集相談員とともに高校の学校訪問を行っている。

事前に進路指導主任の先生に広報官が自衛隊の主な職種、オープンキャンパスの案内や募集種目等の説明をした後、日を改めて学校長に対し所長が自衛官という職務の重要性、特性などを説明している。

また、併せて各種パンフレット、募信用ポスターの掲示、募集要項及び各種パンフレットを置いてもらえるよう依頼もしている。

相模原地域事務所は、「今後も学校を訪問し、連携強化を図っていききたい」としている。

横浜市旭区役所内にポスター掲示



旭区役所に掲示された募集ポスター

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎1陸尉）は、7月1日（火）、横浜市旭区役所内の掲示板に自衛官募集ポスターを掲示した。旭区は、案内所が担当している6区の中で一番多くの人口を誇り、区役所前はいつも多くの市民が行き交うため自衛官募集の宣伝効果が期待できる。区職員は、「受付終了日まで掲示させていただきまます」と快く応諾してくれた。

横浜中央募集案内所は「今後も定期的な足を運び、募集種目ごとのポスター掲示を依頼していききたい」としている。